

活動No	H23-④	実施河川レンジャー	廣岡河川レンジャー
活動名	<b>名張川ホタル再生に向けて「ホタル鑑賞会」</b> <b>(名張地区まちづくり推進協議会・まちなか交流部会との連携活動)</b>		
実施日	平成23年6月18日(土) 19:00～20:00 ※当日雨天のため、活動内容を縮小して実施		
実施場所	名張市旧細川邸やなせ宿		
活動目的	名張川・町なかホタルの再生に向け、平成22年度に引き続いて名張市まちづくり推進協議会・まちなか交流部会との連携による活動として、現在の状況（ホタル飛翔等）の観測、今後の課題及び進行中のカワニナ・ホタルの飼育状況を説明することにより、今後の活動への理解協力を求める。		
参加者	37名（大人27名、小学生・幼児10名）		
活動内容	<p>①ホタルの生態・ホタル飼育状況の説明 19:00～19:30</p> <p>やなせ宿にて、まちづくり推進協議会の竹中氏より、ホタルの生態説明、カワニナの飼育状況、昨年までのホタル再生にむけての取り組み状況の説明を行った。</p> <hr/> <p>②ホタルの鑑賞会 19:30～20:00</p> <p>当日雨天のため、活動内容を変更し、やなせ宿内において事前に捕獲しておいたホタルの観察と生態の説明等を行った。(名張川河川敷でのホタル観察会は中止)</p>		
講師	なし（まちづくり推進協議会 竹中氏他協力）		
感想 考察	<p>◆活動全般について</p> <p>ホタル鑑賞会当日は、あいにくの雨で当初参加予定は48名であったが実際に来ていただいた人数は37名とスタッフ15名でした。</p> <p>朝から雨が降ったりやんだりして気をもみながら準備に入りました。</p> <p>電話での問い合わせもあり、説明会だけでもと実施を決定した結果、たくさんの子供に参加いただき、自然体験や観察会には親も子供を参加させたいという気持ちを感じとれました。</p> <p>親ポタルの採取、えさとなるカワニナの飼育に質問もいただきながら説明をし、今後の活動に対する理解と協力をお願いできました。</p> <p>アドバンスコープからも、今回の活動に先立ち実施した勉強会や親ほたる採取・観察会等のホタル再生に向けての活動や、川づくりに熱心なまちづくり推進協議会の役員（竹中氏）の密着取材を行っていただき、活動が放映された結果、名張市民に対しアピールできていると思われます。</p> <p>今後の産卵状況を慎重に観察し、成長の中間報告が出来る様協力していきたいと思っております。</p>		

感想  
考察

◆活動目的の達成状況について(参加者意見等より)

現在進行中のカワニナ・ホタルの飼育状況や、名張川のホタル再生に向けた取り組み内容を説明し、今後の活動への理解協力を求めることができましたと思います。

意見交換や感想を頂くなかで、昔の川の様子やホタルの飛翔の様子を聞くことができ、ホタルが飛び交う将来の川の姿をみんなで想像し共有できたことから、今後の活動への参加や人工飼育を共同で行っていくなど、地域全体の取り組みに発展していく1歩となったように思います。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

名張地区まちづくり推進協議会・まちなか交流部会との連携活動ということもあり、協議会や交流部会の方々に中心に動いていただき、スタッフ間の連絡調整や降雨による内容変更の判断等、円滑に実施できたと思います。

参加者  
意見

実際に近くで見たことも触ったこともなかったので良かった。

オス・メスの区別が解って楽しかった。

来年は一緒に飼育してみたい。

※内容変更によりアンケートを実施できなかったため参加者から聞き取り

活動状況

ホタルの生態・ホタル飼育状況の説明



ホタルの生態・ホタル飼育状況の説明



ホタルの生態・ホタル飼育状況の説明



ホタル鑑賞



活動状況

ホタル鑑賞



ホタル鑑賞



ホタル鑑賞



左大:メス 右小:オス  
オスは第6腹節と第7腹節が発光するが、メスは第6腹節だけが発光する。

ホタル鑑賞



飼育箱



カワニナ飼育状況



カワニナ飼育状況



繁殖期は春と秋で、雌は卵ではなく微小な仔貝を300-400匹ほど産み落とす。

アドバンスコープ取材

